

令和2年度（2020）

学校関係者評価委員会（報告書）

学校法人 穴吹学園

専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

学校関係者評価委員会（報告書）

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ 学校関係者評価委員会は令和元年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので報告致します。

令和2年10月2日

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会（委員一覧）

（委員）

藤田 隆良	高松市西部自治会 会長
森川 崇	香川県立観音寺中央高校 元校長
西内 聖一	香川県洋菓子協会 会長 (欠席)

三谷 仁子	四国学院大学 講師
松本 ムツ子	香川県介護福祉士会 理事
村上 明日香	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 保護者会 支部長
長谷川 直子	学校法人 穴吹学園 卒業生 (欠席)

（学校教職員）

市橋 栄治	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 校長
加藤 猛	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 副校長
田村 栄司	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 教務部長
坂井 利成	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 課長代理

3. 学校関係者評価委員会実施日時

日 時：令和2年10月2日（金）17時

場 所：専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ 202号室

4. 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和元年度の目標と計画」について説明。

各自己評価項目について「評価結果（総括）」「取り組み状況とその分析」「今後の改善方策」等について報告。様式は香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施した。

各評価項目について「A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である」の4段階にて評価した。

5. 評価項目別評価結果（令和元年度 自己評価報告書参照）

（1）教育理念・目的・育成人材像

●理念を定め、広く周知しているか

→ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーが記述されたカリキュラムブックが作成され入学希望者に幅広く配布された。

（2）学校運営

●運営方針を教職員に周知しているか

→教職員大会にて本年度の運営方針が周知された

（3）教育活動

●授業改善への取り組み

→介護福祉学科：各授業後に小テストを実施し留学生の理解度を把握しながら授業を展開した。
こども保育学科：授業内で作成したエプロンシアターや絵本を本年度はじめて卒業制作展で展示・発表した。

パティシエ：授業の中で学びを明確にしたことにより、実技向上を志す学生が増え、ジャパンケーキショーへの出展を希望する学生が大きく増えた。

●交通安全教育について

→交通安全教育の実施については、課題が残る。

各担任を通じて交通安全指導を定期的実施するが、留学生が通学時に自転車で交通事故を数件起こした。今年度より留学生対象の保険に加入している。

次年度については警察による講習会の実施も検討していきたい。

(8) 財務

- 収支と支出のバランスは取れているか

→経営会議等にて定期的に財務状況の把握と検討が行われている。

(9) 法令等の遵守

- 学校概要、教育内容、教職員の情報を公開しているか

→ホームページにて情報を公開している。また今年度は授業風景や各種行事をフェイスブックを通じて情報を公開した。

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

→近隣道路の清掃活動（マイロード）や高松クリーンデーでの清掃活動や幼稚園、福祉施設での様々なイベントにも参加し地域貢献に努めた。

以上